

何れも其の如く我々の世に

見ゆる如く其の如く我々の世に

其の如く其の如く我々の世に

其の如く其の如く我々の世に

其の如く其の如く我々の世に

其の如く其の如く我々の世に

其の如く其の如く我々の世に

其の如く其の如く我々の世に

其の如く其の如く我々の世に

其の如く其の如く我々の世に

其の如く其の如く我々の世に

其の如く其の如く我々の世に

其の如く其の如く我々の世に

誤

日

一申(お)花(はな)女(むすめ)お(お)留(とど)め(め)の(の)心(こころ)一

新(あらた)し(し)心(こころ)を(を)し(し)め(め)る(る)心(こころ)を(を)し(し)め(め)る(る)

方(かた)持(も)ち(ち)の(の)心(こころ)を(を)し(し)め(め)る(る)心(こころ)を(を)し(し)め(め)る(る)

と(と)し(し)め(め)る(る)心(こころ)を(を)し(し)め(め)る(る)心(こころ)を(を)し(し)め(め)る(る)

心(こころ)を(を)し(し)め(め)る(る)心(こころ)を(を)し(し)め(め)る(る)心(こころ)を(を)し(し)め(め)る(る)

心(こころ)を(を)し(し)め(め)る(る)心(こころ)を(を)し(し)め(め)る(る)心(こころ)を(を)し(し)め(め)る(る)

心(こころ)を(を)し(し)め(め)る(る)心(こころ)を(を)し(し)め(め)る(る)心(こころ)を(を)し(し)め(め)る(る)

心(こころ)を(を)し(し)め(め)る(る)心(こころ)を(を)し(し)め(め)る(る)心(こころ)を(を)し(し)め(め)る(る)

心(こころ)を(を)し(し)め(め)る(る)心(こころ)を(を)し(し)め(め)る(る)心(こころ)を(を)し(し)め(め)る(る)

心(こころ)を(を)し(し)め(め)る(る)心(こころ)を(を)し(し)め(め)る(る)心(こころ)を(を)し(し)め(め)る(る)

心(こころ)を(を)し(し)め(め)る(る)心(こころ)を(を)し(し)め(め)る(る)心(こころ)を(を)し(し)め(め)る(る)

心(こころ)を(を)し(し)め(め)る(る)心(こころ)を(を)し(し)め(め)る(る)心(こころ)を(を)し(し)め(め)る(る)

東へ風を吹かす
西へ風を吹かす
南へ風を吹かす
北へ風を吹かす
東へ風を吹かす
西へ風を吹かす
南へ風を吹かす
北へ風を吹かす
東へ風を吹かす
西へ風を吹かす
南へ風を吹かす
北へ風を吹かす

東へ風を吹かす
西へ風を吹かす
南へ風を吹かす
北へ風を吹かす
東へ風を吹かす
西へ風を吹かす
南へ風を吹かす
北へ風を吹かす
東へ風を吹かす
西へ風を吹かす
南へ風を吹かす
北へ風を吹かす

がたのり 上 花のさか

鬼 上 我らまふれ河瀬乃岩火

上 かくまひのまはる輪のあゝ

ほのちた 上 花の鬼 上 成へ

男 上 花のまはる 上 花のまはる

花 上 花のまはる 上 花のまはる

花 上 花のまはる 上 花のまはる

花 上 花のまはる 上 花のまはる

花 上 花のまはる 上 花のまはる

花 上 花のまはる 上 花のまはる

花 上 花のまはる 上 花のまはる

花 上 花のまはる 上 花のまはる

Handwritten text in cursive style, likely a dedication or preface, written vertically from right to left. The text is partially obscured by a vertical line on the right side of the page.

定價五錢

明治十九年二月八日 翻刻御届
同 年三月 刻成
出版人 石川縣平民 近八郎右衛門
金澤區横安江町瓦釜地